平成28年１月吉日

各ブロック協議会　代表者　様

各都道府県協会長　様

 日本カーリング協会

 医科学委員会委員長 佐藤　博子

第3３回日本選手権大会並びに第9回日本ミックスダブルス選手権大会

参加選手の薬に関する使用状況の調査について

　各協会、各ブロック協議会におかれましては、表題の各日本選手権大会出場選手の選考大会が行われていることと存じます。

選手の皆様には日頃持っている力量を存分に発揮し、日本代表の権利を獲得されることを期待しております。本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会で、大会参加者は、大会に参加した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなされます。大会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。

また、故意ではなく、選手・コーチのうっかりミスによる陽性反応が出る違反でも、選手は一定期間の出場停止処分等の罰則が課せられ、所属協会も指導を受けるばかりでなく、スポーツ界におけるカーリング競技の不名誉であり、今後のカーリング競技の振興に大きな支障をもたらす事態になります。

従って医科学委員会では、選手を守る立場から、出場選手が決定後、直ちに選手から日頃から医療機関・市販の服用している薬類（常用サプリメントも含む）の報告を受け、医科学委員会所属の医師、薬剤師が調査しWADA規程に違反がある薬については個別の選手に指導又は、事前にJADAに申告が必要な方には「治療使用特例（TUE）申請」の指導を行っております。そしてカーリング競技から無理解によるドーピング違反者を出さないように選手、関係者の皆様と協力関係を築いていきたいと存じます。

どの協会から選手が出場されるか分かりませんので、全ブロック協議会代表者及び各都道府県協会長に送付します。

決定次第に該当するチームに至急に配布をしていただき、遺漏のないようにご指導していただきたいと思います。

大会までの期間があまりありませんので、医科学委員会で手分けをしました。該当する協会は、チーム毎にまとめてブロック医事担当者に送付し、指導を受けるようにお願い致します。

尚、確認に時間を要しますし、ＴＵＥの申請は時間がありませんので、チーム、選手が決定次第、早急に「使用薬物報告書」のご提出をお願い申し上げます。

①使用薬物報告書の提出先について

原則としてチームごとにまとめて下記にご提出ください。使用薬物がない場合でも「なし」と記載して、ブロック担当者に送ってください。

選手から同性の医事担当者に相談したいと申し出があったときは、北海道、東北、関東ブロックの女性選手は佐藤、中部、西日本ブロックの男性は高田(北海道ブロック担当)にご連絡下さい。

各ブロック担当者　連絡先

○北海道ブロック担当　高田　晃先生、谷　直人先生

連絡先　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　a\_takada@ito-seikei.or.jp

○東北、関東ブロック担当　梅村　景太先生

　連絡先　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　apuri@yahoo.co.jp

○中部ブロック担当　林　美夏先生

　連絡先　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　07natumikan15@gmail.com

○西日本ブロック　　北村　雅美　先生

連絡先　　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　t\_ktmr@yo.rim.or.jp

○佐藤 博子　s-hiroko@pure.ocn.ne.jp

　②ドーピング検査同意書（未成年の選手のみ提出必要）

未成年(20歳未満)の選手は、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書が必要です。

まだ提出されていない場合、早急に提出してください。（JADAホームページ参照。）